

## 2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	鍼灸美容学科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	臨床医学総論 I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時間	前期	教室名	講義室
担 当 教 員	奥谷和哉	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
①医療従事者として必要な臨床医学基礎知識を修得することができる②国家試験出題基準を達成することができる③臨床現場で活用ができることを目標とします。						
《成績評価の方法と基準》						
学期末テスト・小テスト						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
「臨床医学総論 第2版」 奈良信雄 著 (医歯薬出版)、配布プリント						
《授業外における学習方法》						
臨床医学各論との相互性が大切となる分野ですので、合わせて学習できるようノートや資料・配布プリントを自身で工夫し、理解しやすいように活用しましょう。						
《履修に当たっての留意点》						
国家試験科目としても、実際の臨床現場においてもとても重要な科目です。また、他の科目を理解する上でも必要となってきました。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	身体診察の意義が説明できる。	教科書 プリント	教科書P1～8までを読んで来る	
		各コマにおける授業予定	オリエンテーション・診察の概要			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	実際の診察過程を説明できる。	教科書 プリント	教科書P8～29までを読んで来る	
		各コマにおける授業予定	医療面接・視診・触診・打診・聴診・測定法・神経の診察			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	バイタルサインを理解し説明できる。	教科書 プリント	教科書P29～41までを読んで来る	
		各コマにおける授業予定	体温・脈拍・血圧・呼吸			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	全身の診察を理解し説明できる。	教科書 プリント	教科書P42～47までを読んで来る	
		各コマにおける授業予定	顔貌、顔色・精神状態・言語			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	全身の診察を理解し説明できる。	教科書 プリント	教科書P48～56までを読んで来る	
		各コマにおける授業予定	身体計測・体型、体格・栄養状態、姿勢と体位・歩行			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	全身の診察を理解し説明できる。	教科書 プリント	教科書P57～71までを読んで来る
		各コマにおける授業予定	皮膚、粘膜、皮下組織・爪の状態・リンパ節・その他の一版的状態		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	局所の観察を理解し説明できる。	教科書 プリント	教科書P72～78までを読んで来る
		各コマにおける授業予定	頭部、顔面、眼、鼻、耳		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	局所の観察を理解し説明できる。	教科書 プリント	教科書P79～85までを読んで来る
		各コマにおける授業予定	口腔、頸部、胸部、乳房		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	局所の観察を理解し説明できる。	教科書 プリント	教科書P86～97までを読んで来る
		各コマにおける授業予定	肺・胸膜、心臓、腹部		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	局所の観察を理解し説明できる。	教科書 プリント	教科書P98～105までを読んで来る
		各コマにおける授業予定	背部、四肢		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	神経系の診察を理解し説明できる。	教科書 プリント	教科書P106～128までを読んで来る
		各コマにおける授業予定	感覚検査法、反射検査、脳神経系の検査		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	神経系の診察を理解し説明できる。	教科書 プリント	教科書P106～128までを読んで来る
		各コマにおける授業予定	髄膜刺激症状検査、その他の検査		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	運動機能検査を理解し説明できる。	教科書 プリント	教科書P129～139までを読んで来る
		各コマにおける授業予定	運動麻痺、筋肉の異常、不随意運動、協調運動		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	運動機能検査を理解し説明できる。	教科書 プリント	教科書P140～143までを読んで来る
		各コマにおける授業予定	起立と歩行、関節可動域検査、徒手筋力検査		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	運動機能検査を理解し説明できる。	教科書 プリント	教科書P145～150までを読んで来る
		各コマにおける授業予定	日常生活動作、徒手による整形外科的検査法		